



# 日本ペン習字研究会創立90周年記念 WEB展覧会・作品募集

日本ペン習字研究会は、今年2022年で創立90周年を迎えます。そこで「記念WEB展覧会」を開催し、新たな日本ペン習字研究会の歴史を皆様と築いていきたいと思っております。

本会役員はもとより、師範をはじめ、本会でペン習字を始められて間もない方々に至るまで、ぜひ積極的にご出品いただき、90周年記念展覧会と一緒に盛り立ててください！

WEB展覧会に出品された作品は、すべて日本ペン習字研究会ホームページにて掲載します。家にながら、作品をご覧いただくことができるのはWEB展覧会の魅力です。

ご参加をこちらよりお待ちしております！

特クラス ..... 師範会役員  
(会長 副会長 参与 総務理事 常任理事 理事)  
 Aクラス ..... 師範  
 Bクラス ..... 準師範・推薦・五段・四段  
 Cクラス ..... 三段・二段・初段・準初段  
 Dクラス ..... 1級・2級・3級・4級  
 Eクラス ..... 5級・6級・7級・8級・  
 9級・10級・新規

※特クラスの審査は行いません。  
 A～Eは各部門、クラスによる審査を行います。

●**審査の観点**  
 「字形と紙面構成に重点を置いた審査」といたします。

●**審査会**  
 会長、副会長、委嘱の審査員によって行われます。

### ◆褒賞・発表 (各クラス共通)

●**褒賞**  
 会長賞、理事長賞、特選、秀逸、褒状  
 各賞の賞状を贈呈いたします。2023年1月初旬から順次発送いたします。上位受賞者は、2月18日(日)に開催いたします全国会員大会にて表彰いたします。

●**発表**  
 12月中旬に日本ペン習字研究会ホームページにて掲載いたします。優秀作品は、2023年1月号にて誌面掲載いたします。

### ◆作品規定 全クラス共通

●**作品用紙**  
 競書用紙B・C・F(筆ペン用紙含む)に限る。罫線のない裏面使用はできません。色紙、料紙、私製用紙は使用できません。

●**使用筆具**  
 ボールペン、万年筆、デスクペン、つけペン、筆ペン。インク色は黒に限り、毛筆、筆具外不可。

●**題材**  
 自由。次ページの参考手本、本誌掲載の課題参考手本を利用してもよい。作品の末尾に名前または雅号を「○○かく」と書き入れること(かな作品除く)。押印のみ可。臨書作品でもよい。その際は「○○臨」。作品の裏面に鉛筆で氏名(号)をお書きください。

### ◆審査

審査は「本の光」2022年8月号現在までの規定部、かな部、筆ペン部の段級位により、右記の各クラスに分けて行います。特クラスは審査対象外。A～Eクラスの各部門ごとに審査。

規定部、かな部、筆ペン部3つの部門にご出品いただけます。(複数出品可)

## 出品受付 9月12日(月)～16日(金) 締め切り

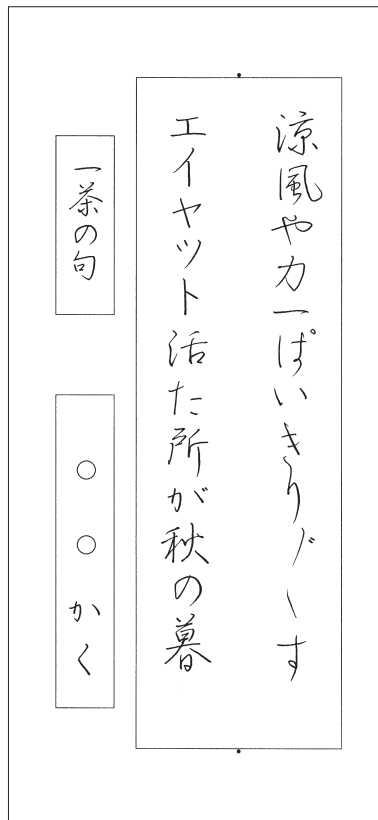
出品料 【1作品】 役員(師範会理事以上) ..... 5,500円(税込)  
 会員 ..... 2,200円(税込)

10月下旬に、結果通知、出品料振込用紙をご郵送いたします。支部・団体出品の場合、代表者にまとめて送付いたします。※支部出品、支部登録者は、11月8日(火)発行の取引明細書をご確認ください。

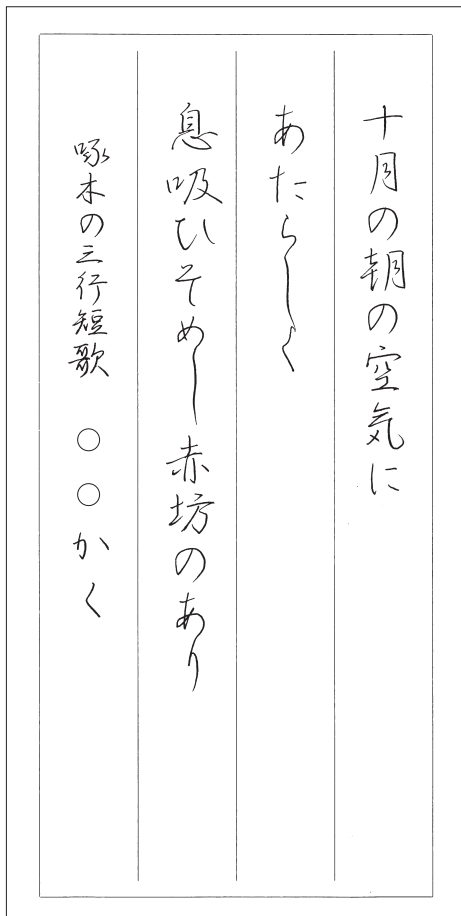
出品券 支部・団体出品の場合 ..... 団体名簿と出品券を合わせて作品とともにご提出ください。団体名簿はホームページよりプリントアウトまたは事務局にご請求ください。  
 個人出品の場合 ..... 出品券と作品を合わせてご提出ください。

送り先 〒162-8717 (宅配便の場合〒162-0042)  
 東京都新宿区早稲田5-4 日本ペン習字研究会 90周年記念WEB展覧会係  
 事務局窓口での受付も可能です。平日10:00～17:00  
 出品作品はお返しいたしません。ご了承ください。作品は折らずにお送りください。

【お問い合わせ先】日本ペン習字研究会事務局  
 電話：0120-127-927 (平日 9:30～17:30) FAX：0120-135-794 Eメール：jimukyoku@gakubun.co.jp



参考文A  
 田中鳴舟会長選文・書 競書用紙F使用 169%に拡大してください。  
 一茶の句 小林一茶



参考文B  
 田中鳴舟会長選文・書 競書用紙C使用 169%に拡大してください。  
 啄木の三行短歌 石川啄木

### 題材・参考文

27ページから29ページに掲載された手本は参考文です。参考文以外に、過去の「本の光」の月例手本を参照されてもかまいません。題材は自由です。

競書用紙B・C・F(筆ペン用紙含む)をご使用ください。用紙はたて位置に限り、縦書き、横書きは自由です。

作品の裏面に鉛筆で氏名(号)をお書きください。

応募作品は著作権、版権に抵触しないようにご配慮ください。万一問題が起きた場合は、責任を負いかねますのでご了承ください。  
 ※著作権の原則的保護期間は、著作者が著作物を創作した時点から、死後70年まで。思想や感情が創作的に表現されていれば、新聞署名コラム記事も著作物扱いとなります。

参考文は縮小して掲載しております。  
 169%に拡大してご使用ください。また、日本ペン習字研究会ホームページよりプリントアウトもできます。ペン習字の展覧会をご覧ください。

待ちぼうけ  
 待ちぼうけ  
 ある日せっせと  
 野良かせぎ  
 そこへ兎が  
 とんで出て  
 ころり転げた  
 木の根っこ  
 ○○かく

参考文C 成田風石副会長選文・書 競書用紙C使用 169%に拡大してください。  
 「待ちぼうけ」 北原白秋

はるかに海の見える丘  
 月のしずくをすって咲く  
 夢のお花の月見草  
 花咲く丘よなつかしの ○○かく

参考文D 有田翠苑副会長選文・書 競書用紙C使用 169%に拡大してください。  
 「月見草の花」 山川清

秋の夕日に照る山紅葉  
 濃いも薄いも数ある中に  
 松をいろどる楓や蔦は  
 山のおもとの裾模様 ○○かく

参考文G 野本翠苑副会長選文・書 競書用紙F使用 169%に拡大してください。  
 「日本のうた」 紅葉、高野辰之 野ばら社

赤々と日はつれなくも秋の風  
 白菊の眼にたそえて見る塵もが



参考文H 山崎春香副会長選文・書 競書用紙F使用 169%に拡大してください。  
 「奥の細道」「笈日記」 松尾芭蕉

にび色の空のまほど近い海の匂ひ  
 汪洋とた川口の引き潮を  
 家鴨が羽流れてゆく  
 右を眺め左を眺め ○○かく

参考文E 畔柳香風副会長選文・書 競書用紙C使用 169%に拡大してください。  
 「家鴨」 三好達治 南窗集

白雪  
 三浦映泉常任理事選文・書 競書用紙C使用 169%に拡大してください。  
 白雪のふりしく時はみよしの山した風に花ぞちりける  
 白雪のふりしく時はみよしの山した風に花ぞちりける  
 紀貫之 かな墨場辞典

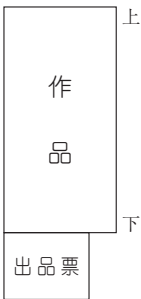
参考文F 三浦映泉常任理事選文・書 競書用紙C使用 169%に拡大してください。  
 白雪のふりしく時はみよしの山した風に花ぞちりける  
 白雪のふりしく時はみよしの山した風に花ぞちりける  
 紀貫之 かな墨場辞典

あらしなく草の中よりけふの月  
 中一泉流常任理事選文・書 競書用紙B使用 169%に拡大してください。  
 あらしなく草の中よりけふの月  
 あらしなく草の中よりけふの月  
 「けふの月」 三浦栲良 かな墨場辞典俳句編

参考文I 中一泉流常任理事選文・書 競書用紙B使用 169%に拡大してください。  
 あらしなく草の中よりけふの月  
 あらしなく草の中よりけふの月  
 「けふの月」 三浦栲良 かな墨場辞典俳句編

【出品票のはり方】

出品票は作品の左下にはって  
 ください。コピー可。1作品  
 に1枚必要です。  
 出品部門に☑を入れ、必ずク  
 ラスをご記入ください。支部・  
 団体出品の方は所属支部名も  
 お書きください。  
 (★欄は事務局使用)  
 作品の裏面に鉛筆で氏名(号)  
 をお書きください。



のりしろ

キリトリ線

90周年記念WEB展覧会 9月20日しめきり分

氏名	フリガナ	雅号	年齢
部門	<input type="checkbox"/> 規定部門 <input type="checkbox"/> かな筆	クラス	受付番号★
住所	〒 ー 都道府県 市区		
所属支部	電話番号 ( )		